全引連ニュース
旅立ち
引きこもり
NPO法人（内閣府認証）全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会）代表 奥山 雅久
第45号 発行日 平成20年7月6日 〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町1-3-3
（隔月発刊） FAX 048-758-5705 ホームページ http://www.khj-h.com

予告 第4回全代研（全国代表者研修会議）
広島大会

日時 平成20年11月29～30日

会場 広島県健康福祉センター
宿泊
懇親交流会場 KKRホテル広島
テーマ 引きこもりへの国の施策に向けて

全引連KHJの悲願
XDayがスタート 6/18日
厚労省「引きこもり関連施策推進チーム」と全引連KHJが初会合で要望書提出
常設の引きこもり対策課（室）を求める

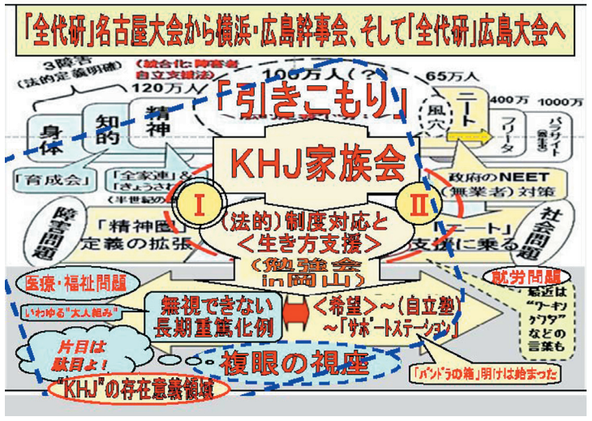
去る六月十八日我々引きこもり家族会の悲願であった、厚労省引きこもり施策チームとの初会合が、参議院議員会館で開催された。

民主党の引きこもり施策作業チーム（桜井充会長）の音頭取りで、厚労省引きこもり関連施策チームと全引連KHJとの意見交換の場となった。

会合では、厚労省の同推進チームから出席した七名から引きこもりやニートへの施策現況が説明され、これに民主党の水戸将史議員等が質問、意見を述べた。最後に、全引連KHJの奥山雅久代表から引きこもりで困窮している家族の事例等の訴えと共に、家族会からの要望十項目を同推進チームに提出した。

我々家族会では、この日を悲願の記念すべき日Xdayと位置付け、今後の厚労省との交渉がスタートすることができ、引きこもりの施策が進展することを是非期待したい。関係家族や関係者からの支持、応援、団結が一層大切となってきた。

2008年6月18日（参議院議員会館にて）「厚生労働省・社会・援護局」藤木則夫総務課長、日詰正文専門官など、要職の方々と面談、「引きこもり」問題への理解を要望した



本機関誌は、全会員及び、関係国会議員、厚生労働省、文部科学省、地方自治体の担当課、更にマスメディア、専門家やその他の関係者に配布送付されます。

こころ病む人々への賛歌
（KHJ岡山「きびの会」会長 川島カイ三）

社会に馴染めない若者たち
悶々と続く底なしの沼
自責の念にさいなまれ
時に怒りの矛先を探す
それは自らの罪なのか
自分への怒りなのか
隣人への怒りなのか
社会への怒りなのか
何かのサイクルの自縛に絡まれ
ブラックホールに吸い込まれるように
もがけばもがくほどいのちの泉涸れ
疲れ切って動く気力もなし
優しくて控え目で自尊心に充ちて
堂々と生き続けたい
どんなに難しいことであろうとも
一歩も引かない存在でありたい
それは視点を変えれば
お人好しで間抜けで自信過剰
人はそう思い苛立ち
まさにいじめの対象となる
嘘で固めてどやしつけ先手を取る
それが生き続けることの条件？
こころ病む人はそれを嫌い
そこに徹し切れずに悩み続ける
良心の呵責に耐えかね
自らがバラバラに砕かれ
自らの立つ地盤が揺らぎ
向かうべき目的も定まらない
じっと耐えることの苦しみ
誰がとがめられよう
その忍耐の見事さ
排除の論理は問題外

メウビウス環帯のように
ねじれて結びつき
反対に動き複雑に絡み合い
時間と共に螺旋状に展開する
親は子の反面教師
子は親を否定し成長し
独自な世界を創造し
独立独歩の人となる
父は母の想いに疑問持ち
母は父の無責任さを責め
社会は親の教育を咎める
人の不幸は蜜の味
誰が生んでくれと頼んだか
地球だっていつ駄目になるか
核戦争だっていつ起こるか
そこにどんな夢があるのか
そこで努力するのが人間!?
説教する人たちのめでたさよ
どうぞ頑張ってください
私はまっぴらご免です
あちこちから聞こえてくる
それはあなたの声？
いやあなたの声？
いや自分の心の叫び!?
その心の叫びに耳ふさぎ
快楽の海に溺れるのも
もっともらしい説教も
私の好みに合いはしない
この世がどれほど価値あるか
さあ見せてくれ！
私の好みに合いさえすれば
嬉々として生き続けられよう
この世の底の底までも

見据えて耐えるその力
そこから生まれる熱きもの
迸り出るいのちの言葉
涙とともに溢れ出る
あなたとあなたとあなたを結ぶ
私とあなたと彼と彼女を結ぶ
見えない透明な絆
ひとつの言葉が私を傷つけ
ひとつの言葉が私を救う
怒りの言葉が愛の言葉に
変換される無限なる世界
誰がそれを語るのか
誰がそれを聞くのか
ごまかすことの出来ない
純粋無垢なあなたの言葉
様々な音になって聞こえてくる
ピアノ・ヴァイオリン・フルート・
オーボエ・クラリネット・ティンパ
ニー・チェロとバス
すべてが調和してハーモニーとなる
音は色になって変容する
真っ赤な太陽新緑の木々と草花
真っ青な海と空黒々とした豊かな大地
そこに不協和音と奇形はない
それこそが真実の世界
目指すべき目的の王国
幼な児の夢多き憧れの日々
何処に消えてしまったのか
苦しみの嵐の後に
かすかに見えてきた
光の束
人々の心に徐々に拡がる
大きな愛の輪になって
苦しみの底にうめく人々を救う
幸いなるかなこころ病める人々
あなた方は真っ先に救われる

KHJ family 月例会に参加して気を楽にしたり情報交換しませんか

特定非営利活動法人（内閣府認証）全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会）

☆親の会（月例会）問い合わせ先（北海道～沖縄）

42支部6,410家族と14の準地区会で7,920家族

○全引連KHJ本部（全国） NPO法人
〒339-0057 さいたま市岩槻区本町1-3-3 らうんじ内 FAX 048-758-5705 奥山 雅久
○KHJ埼玉「けやきの会」（埼玉県、群馬県）
〒339-0057 さいたま市岩槻区本町1-3-3 らうんじ内 FAX 048-758-5705 西塚 浩平
○KHJ東東京「楽の会」（東京都、）
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 TEL 03-3918-0655 FAX 03-3918-7873 池田 佳世
○KHJ西東京「萌の会」（東京都、）
〒167-0051 東京都杉並区荻窪1-19-4 FAX 03-5397-5372 井手 登 井手 宏
○グループ コスモス（東京都等） TEL・FAX 03-3728-4488
〒145-0066 東京都大田区南雪谷2-11-5 石尾 瑛子
○KHJ東海なでしこの会（愛知県、三重県、岐阜県等） NPO法人
〒483-8337 愛知県江南市藤ヶ丘4-1-1 江南団地78-106 FAX 0587-52-4511 伊藤 進
○名古屋オレンジの会（愛知県、三重県、岐阜県、近隣県） NPO法人
〒453-0015 名古屋市中村区椿町19-7 チサンマンション椿町304 TEL・FAX 052-459-5116 鈴木美登里
○KHJ北陸会（石川県、福井県）例会会場 石川県金沢市県立女性センター
〒924-0024 石川県白山市北安田町1381 事務局
○とやま大地の会 TEL 090-3768-1733・FAX 076-429-5886
〒939-2455 富山県富山市八尾町大玉生秋「野良里」内 井波 純子
○京都オレンジの会（京都府、奈良県、等）TEL・FAX 075-752-0189 NPO法人
〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東六丁目分木町74-3（2F） 稲垣 緑
○KHJ「つばさ友の会」大阪 TEL・FAX 072-844-0399（NPO法人ISIS大阪）
〒573-0027 大阪府枚方市大垣内町1-3-1 マインドビル1F 岡村
○大坂家族会「虹の会」
〒592-0002 大坂府高石市羽衣2-4-20 石神記念医学研究所内 原 治子
○神戸オレンジの会（兵庫県、） NPO法人
〒652-0805 兵庫県神戸市兵庫区羽坂通4-2-22 TEL 078-515-8060 松井 勝也
○情報センターふきのとう姫路（兵庫県） TEL 090-5046-7134 FAX 0792-24-5259
〒670-0896 兵庫県姫路市上大野1-11-6 櫛橋 行雄
○KHJ福岡県「楠の会」（福岡、佐賀、長崎）TEL 090-8222-7403
〒815-0034 福岡県福岡市南区南大橋1-17-2 092-511-1098 吉村 文恵
○KHJ高知県親の会「やいろ鳥」の会 TEL・Fax 0887-55-1255
〒781-5205 高知県香美郡野市町みどり野東1-33 竹中あおい
○岩手県青少年自立支援センター「ボランの広場」家族会（岩手県、等） NPO法人
〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町19-8 TEL 019-605-8632 FAX 605-8633 三宅 均
○KHJ宮崎県「楠の会」 TEL・FAX 0985(31) 1375
〒880-0001 宮崎県宮崎市橘通り1-4-3 井上ビル2F 植田美紀子
○KHJ宮城県「タオ」TEL・FAX 022-293-8355 NPO法人
〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番 みやぎNPOプラザ内 佐藤 傑
○KHJにいがた「秋桜の会」TEL 090-4017-2889 NPO法人
〒950-0167 新潟県新潟市江南区五月町1-2-9 三膳 克弥
○KHJ熊本県「楠の会」（熊本、佐賀県、長崎県）
〒860-0072 熊本県熊本市花園7-2435-12 TEL／FAX 096-322-3787 武井 敬蔵

☆各サークルの月例会（月1回）の役割 ○同じ境遇の親同志での心おきない話し会い。自分達だけが引きこもり（すがりけ、とりけ）で苦しんでいるのではない、仲間が居るのだという実感。孤立感からの脱却→親の心の癒し→本人の言いつくせない気持（心）に対応できる良好循環へ ○問題に対する情報の交換（施設、専門医、カウンセリング、薬等の）○先輩会員の沢山の例を知る今後の自分達のこの問題に対する対応、心構えをつくってゆく
☆引きこもりKHJ親の会の役割 ○情報の収集と検証（医療施設、専門機関、専門家、各種行政、マスコミ）○不登校→引きこもり→すがり付→とり付の流れを、早い段階で対応すべく世間に警鐘をならしてゆく
○他県の同じ趣旨の会を立ち上げたり連携をとってゆく→全国組織化○行政の対応や支援、制度化の対応を求めてゆく⇔（社会問題を起こしたり、本人の生涯に渡る永い状況は一家庭の対応を越えている）
○核本的施設、「若者の居場所」「グループホーム」の設立と公的助成を

○KHJ青森県「アップルの会」TEL／FAX 0178-88-5297 事務局長
〒039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西5-9-1634 サンハウス内 川村 克彦
○KHJ岡山県「きびの会」TEL・FAX 0868-23-3294
〒708-0821 岡山県津山市野介代526-30 川島 カイ三
○KHJ広島県「もみじの会」TEL・FAX 082-567-7740（平日090-8060-0054前川）
〒732-0056 広島県広島市東区上大須賀町1-6-701 藤岡 清人
○KHJ鹿児島県「楠の会」TEL・FAX 0993-38-0320 自宅TEL 0993-38-1421
〒891-0704 鹿児島県揖宿郡頴娃町別府1243 福留 順一
○KHJ静岡県「いっぷく会」 TEL・FAX 054-245-0766
〒420-0884 静岡県静岡市大岩本町25-2 中津川舜美
○KHJ香川県（四国）「オリーブの会」TEL・FAX 087-843-9877 NPO法人
〒761-0104 香川県高松市高松町2574-9 川井 富枝
○山形県「からころセンター」 TEL・FAX 0238-21-6436 NPO法人
〒992-0026 山形県米沢市東2-8-116 伊藤 正俊
○KHJ福島県 TEL 024-944-0750 FAX 024-943-1686
〒963-8813 福島県郡山市芳賀2-21-10 矢吹 孝志
○「いばらきの会」 FAX 0297-42-7751
〒300-2706 茨城県常総市新石下4503-1 朋友内 菊地 芳明
○KHJ北海道「はまなす」 TEL・FAX 011-631-0981
〒064-0824 北海道札幌市中央区北四条西26丁目3-2 田中 敦
○KHJ栃木県「ベリー会」TEL 090-4247-2829
〒329-1105 栃木県河内郡河内町中岡本4077 斉藤三枝子
○KHJ神奈川県「虹の会」TEL／FAX 045-823-5464
〒244-0814 神奈川県横浜市戸塚区南舞岡4-5-16 鈴木 豊年
○KHJ徳島県「つばめの会」 TEL 090-7620-4625 TEL・FAX 0883-24-0507
〒776-0014 徳島県吉野川市鴨島町知恵島372-6 高橋 浩爾
○KHJ千葉県「なの花会」 TEL 090-8491-0971 NPO法人
〒267-0055 千葉県千葉市緑区越智町1701-275 藤江 幹子
○ 秋田県「かだれ会 」 TEL 0185-72-4133 FAX 0185-72-4134
〒018-2303 秋田県山本郡山本町森丘字石倉沢1-2 長信田の森心療クリニック（暫定）
○KHJ山口県「きらら会」TEL・FAX 0836-88-2681
〒756-0862 山口県山陽小野田市須恵西2471-1 小林 攻
○滋賀県「グッドハート」 TEL・FAX 077-561-8759 NPO法人
〒525-0034 滋賀県草津市草津2-5-12-402 加藤 日出子
○沖縄県 TEL 098-888-1443 FAX 098-888-1710 兼浜 保佳
〒901-1104 沖縄県南風原町字宮平212-3 沖縄県精神福祉センター相談課（暫定）
○KHJ大分県「大分若者自立支援の会ステップ」 TEL 090-1163-8582 NPO法人
〒879-5102 大分県由布市湯布院町川上3604-14 松本 太郎
○KHJ愛媛県「こまどり」の会 TEL・FAX 089-962-3946
〒791-2133 愛媛県伊予郡砥部町五本松212 澤田 和廣

厚生労働省科学研究費補助 こころの健康科学研究事業

「思春期のひきこもりをもたらす精神科疾患の実態把握と精神医学的治療・援助システムの構築に関する研究」
平成 19 年度 総括・分担研究報告書（19~21 年研究事業の 19 年度分発表・196 ページ）
主任研究者 斎藤 万比古（他 各専門家 80 余名・38 機関）平成 20（2008）年 3 月

研究要旨
近年、ひきこもりの背景に多彩な精神疾患の関与が指摘されるようになったことから、医療・保健・福祉・教育の領域で一貫性あるひきこもり概念の策定と、標準的な評価・治療・援助システムの開発が緊急に求められている。本研究は 10 代を中心とする「思春期引きこもり（ひきこもり状態の顕著な不登校を含む）を対象とし、その実態把握とともに、思春期ひきこもり事例に対する医療的治療と社会的支援を包括した援助システムを開発することを目指すものである。本年度はパイロット・スタディと文献研究を中心に取組んだが、全国調査も実施し、新たな支援法の開発も開始している。次年度より疫学研究も追加する予定である。

☆所感 引きこもり：発達障害、気分障害（うつ）、社会不安障害、人格障害、統合失調症の混在が顕著、鮮明に・・・早期対応を（動態論）

ひきこもりの思春期青年期事例は、一般医療機関の受診者では統合失調症と最終的に診断された事例が 24%、発達障害とされたものが 22% に及ぶという一般精神科における結果は、本研究が引きこもりという現象に統合失調症の事例が少なからず混じりこんでいる可能性を前提に定義を行ったことを支持する結果といえるだろう。

千葉のＳ病院のよう積極的に「ひきこもり」診療にあたっている民間の一般精神科医療機関の場合には、ひきこもり当事者の精神疾患は、第Ｉ軸障害では社会不安障害が最も多く、次いで多い気分変調性障害と合わせて 92% を占め、第Ⅱ軸障害では回避性人格障害が 27% と最も多い結果を得ており、自ら治療を希望する事例の背景障害の特異性が際立つ形となっている。精神保健福祉センターでの相談事例では、精神障害（精神病性障害、気分障害、不安障害など）の関与している比率は 25%、発達障害の関与している比率は 23% であった。

この研究班の最終目的は国からの治療・援助システムのガイドラインの作成である。　　KHJ 本部調査部会

引きこもり施策への 10 以上のマスメディアの追風 4 月～6 月

共通取材テーマ：長期重篤な当事者を抱える困窮家庭を報道

引きこもり平均年齢30歳超で

この四月～六月にかけ毎日、読売、朝日、産経の各新聞やフジＴＶ、テレビ朝日、ＴＢＳのテレビ局や、さらには夕刊フジ、女性セブン等10を越えるマスメディアが全引連ＫＨＪを取材し特集を組んだ。

取材テーマは何故か共通し、長期重篤な当事者を抱える家庭を描く特集や番組である。

しかし、これは正に平均年齢が30歳を超えてしまった当事者を抱える困窮しきった多くの家族の実像の姿である。

（写真：ＴＶ局提供）

「引きこもり外来」

◆徳島 6/21 日 5 周年 ◆香川 6/22 日 6 周年（NPO 化で）行事盛大に開催

引きこもり支援を訴え

つばめの会 設立５年記念講演会

徳島市内

引きこもり者への公的支援を訴える奥山代表＝徳島市内のとくしま県民活動プラザ

引きこもりの子どもを抱える親たちのグループ「会」は二十二日、設立五周年の記念講演会を徳島市内のとくしま県民活動プラザで開き、会員ら約七十人が参加した。

徳島大学総合科学部の境泉洋准教授が「引きこもりをめぐる現状」と題して講演。会員を対象にした調査で、引きこもりの平均年齢が三十歳を超えたことなどを紹介し、「彼らは安心できる居場所を一番求めている。上手にコミュニケーションを図り、社会参加につなげてほしい」と話した。

全国引きこもりＫＨＪ親の会（本部・埼玉県）の奥山雅久代表は「引きこもりは病気であり、支援法の創設やカウンセラーなど専門家の早期育成が欠かせない」と、公的支援の必要性を訴えた。

徳島新聞 6 月 22 日掲載

200 名のホールが一杯に（KHJ 香川）

「親の積極的な行動や居場所作りが大切」と話す中垣内正和さん＝高松市内

ひきこもりの子どもを持つ親の会・ＫＨＪ香川県オリーブの会のＮＰＯ法人化を記念した「ひきこもり講演会」がこのほど、高松市内で開かれた。「はじめてのひきこもり外来」の著者で新潟市の精神科医・中垣内しながいと」正和さんが講師として招かれ、「親の積極的なかかわりや若者の居場所作りが必要」などと、同会の活動にエールを送った。

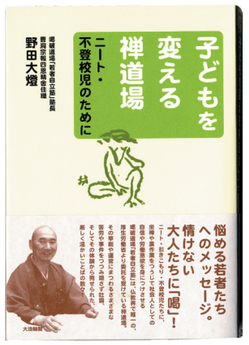
オリーブの会（川井富枝理事長）は２００２年７月に発足、今年４月にＮＰＯ法人化された。グループカウンセリングや専門家による講演会などの例会を毎月開催し、親同士の情報交換やひきこもり

……（四国新聞　6月28日掲載）

（インターネット）自宅学習で高校卒業。

ウィザス高校の特長
- ◆インターネットを利用した学習支援システム
- ◆全国（47都道府県）からいつでも入学可能
- ◆心のふれあいを大切にした教育を実践
- ◆スクールカウンセラーによるメンタル面のケアも充実

ウィザス高等学校 WITHUS HIGH SCHOOL［広域通信・単位制］
0120-130-530　茨城県高萩市 赤沢2086-1（本校）
各地にキャンパス（学習センター）があるので、全国どこからでも入学することができます。
～ウィザス高校の詳しい内容はホームページ～
http://www.with-us.ed.jp



2008 年第 42 回仏教伝道文化受賞の野田大燈老師 著
大法輪閣新刊　￥1,500

新「困った子」ほどすばらしい

ベテラン・ママさんカウンセラーとっておきの＋5の知恵 親子がうまくいく（簡単） 池田 佳世（単行本－2007／10）
￥1575（税込）
ハート出版

KHJ 兄弟姉妹の会創設の呼掛け

6 月 1 日関東からスタート、ご連絡お問い合わせは下記、FAX かメールにてお願いします。

この会の全国ブロック会の創設を目指していきましょう。

引きこもりＫＨＪ兄弟姉妹の会 創設のご案内

近年、当会への相談問い合わせの中に一定の確率で当事者の兄弟姉妹からの相談がございます。

実は、当事者の兄弟姉妹も長期に亘る「我が家の引きこもり問題」に、複雑な心境で悩み続けているわけです。

引きこもる当事者への思い、無念さ、不安を親とは違う角度で兄弟姉妹ゆえの悩みとして抱え続け生きているわけです。

究極の、親が病床に伏したり、亡くなった後への己の人生と当事者への関わり方すら見えず悩み不安に慄いていることも事実でありましょう。

そんな兄弟姉妹の一人として長年当会に関与している安下氏が、この度、全引連ＫＨＪ本部と相談の上、兄弟姉妹の会の創設を呼び掛けることとなりました。

引きこもりＫＨＪ親の会と当該親達で、彼ら「当事者兄弟姉妹の会」を支持、支援、連携していこうではありませんか！ともすれば、親が引きこもる当事者に心が奪われ勝ちのなか、兄弟姉妹も、想いと不安とやるせなさを抱え続けている人生です。

同時に、改めて「家族とは何か」「家族の絆とは何か」をも違う角度での問いかける視点も開かれましょう。

「引きこもり兄弟姉妹の会」の存在は、引きこもり問題が、次の世代まで持ち越されてしまいかねない深刻な問題として我々だけでなく社会に問いかけていく強烈なメッセージとなっていきましょう。関係各位のご理解とご支持を宜しくお願い申し上げます。

平成20年6月吉日ＮＰＯ法人（内閣府認証）全国引きこもりＫＨＪ親の会（家族会連合会）本部理事長 奥山 雅久 理事会 有志・
引きこもりＫＨＪ兄弟姉妹の会 代表発起人 安下 真一
FAX ０３・５３９１・６７８２（安下）
Ｅメール：yasu.1204@ab.auone-net.jp

社会不安障害総合情報サイト
SADとは"Social Anxiety Disorder"の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことです。
SAD NET
人前で話したり、食べたり、、書いたりしようとすると、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いの
・おおよそのSAD（社会不安障害）をチェック可
・どこへ行けば治療して貰えるの？
社会不安障害の総合情報サイト
URL：http://www.sad-net.jp/

専門医が示す回復への 10 ステップ

￥1500（税別）ハート出版
人生はいつからでも「スタート」直る手だてはある。希望はある。
著者：中垣内正和（精神科医）

ひきこもりサポートナビ
当会の共同主宰ひきこもりサポートナビ（主宰の㈱シンクプロジェクト）が主要メディアで紹介され会員が急増中。
URL：www.hikikomori - navi. com

ルポ「ひきこもり」　価格８００円
FAX０４８（７５８）５７０５
行き詰まり、混迷を深める時代の狭間において、何とか活路を見出したいと願う方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。
推薦のことば　精神科医・医学博士　中垣内正和
FAX 048(758)5705

無　料
引きこもり電話相談
☎ 03-5319-1430
火・木・土 PM1:00～5:00
第４土曜・祭日休み
KHJ東 東京「楽の会」

当事者チャレンジ連載『僕サー・ボクサー』
KHJ ホームページ第一面に掲載
http://www.khj-h.com/jituroku.htm

沖縄県
若者自立塾
社団法人 日本青少年育成協会
http://www.jyda.jp/